

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

2013

1

今年の交通安全年間スローガン優秀作(警察庁長官賞)ーこども部門ー

気をつけて! あおになっても 右左



謹賀新年

裕次郎灯台と富士山



自転車はどこを走ったらいいの...? 教えて!

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリン・スクール を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(24年12月末)

◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成24年		37,054	179	44,083
平成23年		38,800	180	46,226
増減数		-1,746	-1	-2,143
増減率		-4.5	-0.6	-4.6

	総数	男	女
県人口	9,075,075	4,545,284	4,529,791
免許人口	5,537,355	3,221,911	2,315,444
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人

(県人口は平成24年12月1日、免許人口は平成24年11月末現在)

公益財団法人
神奈川県交通安全協会会長

石坂 浩二



新年明けましておめでと〜ございます。
皆様方には、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭ご挨拶

神奈川県警察

本部長 久我 英一



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
神奈川交通安全協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃から地域における交通安全活動に深いご理解と献身的なご努力をいただいておりますことに対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年の県内の交通事故情勢は、県警察をはじめ関係機関・団体の皆様方のご尽力によりまして、発生件数、負傷者数とも12年連続減少というすばらしい成果を上げたほか、死者数にあつても9月に急増し危惧されたところでございますが、2年連続で減少、いわゆる「トリプル減少」を達成することができました。

しかしながら死亡事故の発生実態を見てもみまると、高齢者による運転中や歩行中の事故が多発しているほか、二輪車運転中の事故による死者数が増加し、その事故全体に占める割合は、相変わらず全国

的にも高いところに位置しており、第9次神奈川交通安全計画の150人以下の目標に向けてさらなる取組をしていく必要があります。

県交通安全協会といたしましては、このような厳しい現実を踏まえ、本年も県警察のご指導と関係機関・団体のご協力をいただきながら、ボランティア団体としての交通安全協会の活動に期待する多くの県民の方々の期待に応えるため、反射材の普及促進やハンドルキーパー運動の拡大、過去の交通事故実態、交通事故の危険性等について分析し、地域の交通事故実態に即した広報啓発活動等、地域と一体となった各種交通安全活動を積極的に推進してまいりたいと考えております。

特に近年、自転車利用者のマナー向上

貴協会におかれましては、平素から交通安全活動はもとより、警察行政各般にわたり深い御理解と多大の御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
さて、昨年の県内の交通事故情勢につきましては、人身交通事故で亡くなられた方は179人と前年より減少し、とりわけ、発生件数、怪我をされた方についても、12年連続して減少いたしました。

これも、貴協会による「ハンドルキーパー運動」の推進や、「二輪車安全運転競技大会」、「こども自転車大会」の開催等、県民の皆様の交通安全意識を高揚させるための幅広い交通安全活動を積極的に推進していただいた賜物と感謝申し上げます。

しかしながら、未だに交通事故により

多くの尊い命が奪われており、特に亡くなられた方の約3割を高齢者が占め、そのうち歩行中に事故に遭われた方は7割を超えています。また、二輪車乗車中に亡くなられた方も3割を超え、これは全国平均の約2倍となるなど、依然として厳しい交通情勢にあるものと認識しております。

こうした状況を踏まえ、県警察では平成25年神奈川県警察運営重点における重点推進課題に「交通情勢に応じた交通安全対策の推進」を掲げ、「二輪車・高齢者・自転車・飲酒運転根絶（ゼロ・フォール作戦）」による交通事故防止総合対策を強化してまいります。

どうか、貴協会におかれましても、自転車交通安全講習「チリリン・スクール」を

が声高に叫ばれていますが、それに止まらず自動車の各種装置や電動自転車など利便性の追求に比して、安全性が置き去りにされ、交通の場全体におけるルール無視、モラルの低下が見られますことから、具体的には、高齢者交通安全教室、二輪車安全運転講習、チリリン・スクールなどにより高齢者や子ども等、特に歩行者の安全を確保するための「人優先」意識の醸成・高揚に努めてまいりたいと考えております。

結びに旧年にも倍して皆様方のなお二層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

結びになりますが、本年も貴協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝を心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。



第53回交通安全国民運動中央大会 1月16日、日比谷公会堂で本会議

神奈川県は金章8名、銀章35名、団体等が受章

1月16日、日比谷公会堂で開催される第53回交通安全国民運動中央大会本会議における神奈川県交通安全栄誉章緑十字金・銀章等の受章者及び団体は次のとおりです。

★交通安全栄誉章緑十字金章

- 長島 善仁(金沢)
- 久松 尚(戸部)
- 鈴木 昭三(旭)
- 宮田 三郎(青葉)
- 井上 祐一(浦賀)
- 杉崎 義昭(大和綾瀬)
- 小久保 格三郎(相模原)
- 笠間 裕(伊勢佐木安管)
- 徳 永福次(加賀町)

- 黒川 順吉(磯子)
- 長谷川 昌昭(金沢)
- 上田 トキ子(南)
- 小林 光政(伊勢佐木)
- 小林 紀代子(戸部)
- 天野 昭衛(保土ヶ谷)
- 青木 幸夫(保土ヶ谷)
- 長岡 和則(青葉)
- 森 克巳(栄)
- 富山 健一(川崎)
- 大貫 弘隆(高津)
- 佐藤 仁是(高津)
- 飯田 昌興(横須賀)
- 田中 義雄(横須賀)
- 川辺 淳(横須賀)

長島さん



鈴木さん



井上さん



小久保さん



久松さん



宮田さん



杉崎さん



笠間さん



- 高梨 和吉(三浦市)
 - 鈴木 和仁(葉山町)
 - 柿沢 武(藤沢市)
 - 船橋 輝行(藤沢市)
 - 藤間 桂子(藤沢北)
 - 福岡 武方(藤沢北)
 - 木村 京化(平塚市)
 - 細川 眞良(小田原)
 - 佐藤 哲男(小田原)
 - 柴田 義雄(小田原)
 - 中田 定美(秦野市)
 - 山口 勝太郎(厚木署管内)
 - 武隈 正雄(相模原)
 - 小山 信義(相模原北)
 - 船橋 一(津久井)
 - 片柳 豊(磯子安管)
 - 初山 金久(瀬谷安管)
 - 若井 良雄(川崎臨港安管)
 - 久保田 博夫(相模原北安管)
- ★交通安全優良団体等
- ・葉山町交通指導員連絡会
 - ・秦野市立西小学校
 - ・県立相模原総合高等学校
 - ・小田原交通安全協会
 - ・海老名市交通安全協会
- (順不同 敬称略)

新春のお慶びを
申し上げます

公益財団法人
神奈川県交通安全協会
会長 石坂浩二



財団法人
横浜交通安全協会
会長 板橋 悟



社団法人
川崎市交通安全協会
会長 山下秀男



三浦半島地区
交通安全協会連合会
会長 岡 昌憲



湘南地区
交通安全協会連合会
会長 脇 環



相模地区
交通安全協会連合会
会長 石井 廣好



公益財団法人
神奈川県交通安全協会
専務理事 高橋 民雄



秦野市立西小学校

〔沿革等〕



西小学校は、大正9年の創立で、

西秦野村の2学区を統一して尋常高等西秦野小学校と改称後は、市町村名等の変更に伴う変遷を重ねながら昭和38年1月秦野市立西小

学と改称して現在に至っています。丹沢の麓、小田急線沢沢駅から徒歩15分くらいの住宅街の一角に位置しており、児童数819名、職員数39名を擁し、「心豊かで、たくましく生きる力を身につけた子どもの育成」を基本目標に、めざす子ども像として「よく考え、自ら学ぶ子（意欲、思考、自主性）」、「明るく思いやりのある子（明朗、親切、感謝の礼儀）」、「元氣よく遊びたくましい子（健康、体力、安全）」、「助け合いねばり強くやり抜く子（協力、自

〔功績の概要等〕

校長以下教職員及び上級生が、毎週月曜日に登校する生徒に対し、校門前での挨拶と交通安全を呼びかける「にっこりマンデー」に積極的に取組むほか、各季の交通安全運動期間中は登下校時の交通安全声かけ、監視誘導等を行い、交通安全の啓発に努めています。また、子ども自転車大会への積極的な参加やチリリン・スクールの開催などにより、自転車事故の防止に努めるとともに、保護者と結成した「親どりの会」と連携した地域ぐるみの交通安全活動を推進しています。

第53回交通安全国民運動中央大会で表彰される学校の紹介

神奈川県立相模原総合高等学校

〔沿革等〕



相模原総合高等学校は、昭和55

年創立の大沢高等学校が前身で、平成15年単独改編により県下2番目の総合学科高校としてスタートし、今年度節目の10周年を迎えました。現在、生徒数750名、教職員数60名を擁する学校の周囲には畑地も多く、所在地は在来線各駅から距離もあるため、生徒の9割以上が自転車通学をしています。「自己を拓いていく力をはぐくむ」という教育理念のもとに「豊かな人間性と社会性を育むとともに、人ひとりの資質の啓発と向上を図り、社会に有為な人材を輩出する」という教育目標を掲げています。

ことから、自転車の交通事故防止には熱心で、自転車安全講習などにより自転車事故の被害者としてのもちろん、加害者としての危険性を学習し、交通安全意識の高揚に努めています。特に、校長以下教職員と生徒会が自主的に「九」となり、地元警察署や地区交通安全協会大沢支部等と連携して定期的に校門において自転車登校してくる生徒に声かけ、イヤホン使用を注意するなど交通ルールの指導とマナーの向上に取り組んでおり、地元住民からの評判も良く事故防止に成果を上げています。

〔功労の概要等〕
自転車通学生徒が大多数である



平成24年県交通安全協会10大ニュース

- ① 第1回高齢者自転車大会開催
- ② 交通安全活動功労により叙勲等表彰ラッシュ
- ③ 公益財団法人移行後初の電子事業報告
- ④ 入札により年3種類の教則本使用
- ⑤ 優良講習指導員ダブル配置完了
- ⑥ TSマーク優秀県として県協会が表彰
- ⑦ こども自転車県大会小田原桜井小学校15連覇
- ⑧ 原付講習の管理体制及び整備体制の強化
- ⑨ 県協会例規集を一括編てつ
- ⑩ 県協会職員制服リニューアル

インフォメーション
●安全企画委員会 2/25 県協会会館

～本県では4名が受賞～
おめでとうございます～



全日本交通安全協会会長優良職員表彰
が平成24年11月14日、都内のKKRホテルで行われました。この表彰は、交通安全協会の職員として長きにわたり貢献し、顕著な業績をあげた功労に対して行われるもので、本県の受賞者は次のとおりです。

○奥水恵子(宮前交通安全協会)
○福本悦子(葉山町交通安全協会)
○齊藤弘美(厚木警察署管内交通安全協会)
○笹森モト(相模原北交通安全協会)
(敬称略)

全日本交通安全協会会長優良職員表彰



平成25年使用 交通安全年間スローガン決定

～ 応募総数は58,663点 ～

昨年7月から9月にかけて募集しておりました平成25年使用の交通安全年間スローガンが決まりました。このスローガンは、全日本交通安全協会と毎日新聞社の主催、内閣府、警察庁の共催等によって毎年募集しています。交通関係機関・団体の関係者や学識経験者による審査の結果、各部門で、内閣総理大臣賞（最優秀作）、内閣府特命担当大臣賞（優秀作）、警察庁長官賞（優秀作）がそれぞれ3点ずつと、全日本交通安全協会会長賞（佳作）11点、こども部門で文部科学大臣奨励賞（優秀作）1点が選ばれました。

残念ながら当県からの入選作品はありませんでした。今年こそ奮ってご応募、働きかけをお願いします。

☆ 一般部門(A)：運転者（同乗者を含む）に対するもの

- ◎ 内閣総理大臣賞（最優秀作）
スマホ手に 車や自転車 事故のもと (富山県 若林馨太)
- 内閣府特命担当大臣賞（優秀作）
今点けて！ まだ明るいは もう暗い (東京都 岡田裕二)
- 警察庁長官賞（優秀作）
ベルトした？ みんなしたよが 合言葉 (福島県 渡部美和)
- ▽ 全日本交通安全協会会長賞（佳作）
エゴを捨て やさしい運転 エコになる (宮城県 木幡成貴)
許しません 飲酒運転 許す人 (東京都 岩川綾子)
安心と わが子をつなぐ チャイルドシート (滋賀県 南 英市)
早めにネ ライト ブレーキ ウィンカー (福岡県 前田宗大)

☆ 一般部門(B)：歩行者・自転車利用者に対するもの

- ◎ 内閣総理大臣賞（最優秀作）
お年寄り 孫のお手本 いい横断 (島根県 武藤正実)
- 内閣府特命担当大臣賞（優秀作）
あの道 この道 慣れた道 安全確認 もう一度 (福岡県 尾田ムツ子)
- 警察庁長官賞（優秀作）
夕暮れは 気をつけ 落ちつけ ライトつけ (兵庫県 前田宏樹)
- ▽ 全日本交通安全協会会長賞（佳作）
まだ若い それが危ない 老いの足 (埼玉県 鈴木富士夫)
あぶないよ おしゃべり ケータイ ふたりのり (山梨県 畑野優香)
自転車も 車と同じ ドライバー (福井県 加藤和恵)
光ります ルールとマナーと 反射材 (埼玉県 関井義隆)

☆ こども部門

- ◎ 内閣総理大臣賞（最優秀作）
ヘルメット ぼくのだいじな おともだち (静岡県 シムウエイ旺園)
- 内閣府特命担当大臣賞（優秀作）
いそぐほど きけんは近くに やってくる (静岡県 朝比奈 凜)
- 警察庁長官賞（優秀作）
気をつけて！ あおになっても 右左 (静岡県 上嶋柚果)
- 文部科学大臣奨励賞（優秀作）
点滅で 止まれる君は 金メダル (青森県 山下蓮佳)
- ▽ 全日本交通安全協会会長賞（佳作）
運転中 電話にでない またあとで (静岡県 勝又花音)
だいじだね おさきにどうぞの おもいやり (埼玉県 堀山喜史)
ただいまと 家族にぶ事を おみやげに (静岡県 鈴木伶奈)

(敬称略)



ハンドルキーパー運動の紹介

その270 神奈川県商工会連合会

県商工会連合会は、年末の事故防止運動に合わせて「ハンドルキーパーロゴ入りカレンダー（A4判）」を1万5,000枚作製し、県内19地区の商工会を通じて飲食店に配布するなどにより飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その269 県交通安全協会

(公財)神奈川県交通安全協会は、飲酒運転根絶強化月間、年末の交通事故防止運動の効果的推進を図るため、「飲酒運転根絶カップホルダー」を作製し、12月5日小田急線新百合ヶ丘駅前での「飲酒運転根絶県民大会」キャンペーンにおいて、チラシなど他の啓発グッズとともに配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践等を呼びかけました。



その272 戸部交通安全協会

戸部交通安全協会(大久保満男会長)では、横浜駅東口広場において警察署が実施する「交番の日」の活動に協力参加し、ハンドルキーパー幟旗を掲出して啓発物を配布しながら、駅利用者等に飲酒運転根絶を呼びかけて年末年始の交通安全意識の高揚を図りました。



その271 加賀町交通安全協会

加賀町交通安全協会(杉島和三郎会長)では飲酒運転の根絶を徹底するため、加賀町警察署前における飲酒運転根絶キャンペーンの機会に、ビール会社の協力を得て「ハンドルキーパーぬいぐるみ」を活用し、飲料水や啓発物を配布しながら通行人等に対しハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



～2012 飲酒運転を根絶しよう!! 県民大会～

飲酒運転根絶強化月間中の昨年12月5日(水)、川崎市麻生区の新百合トウェンティワンホールで神奈川県交通安全対策協議会主催による「2012飲酒運転を根絶しよう!!県民大会」が盛大に開催されました。

大会には主催者側から古尾谷県副知事、猪又県警交通部長等、当協会からは高橋専務理事が出席、その他県交通安全対策協議会委員等約300人が参加しました。

主催者等の挨拶に続いて、県警本部被害者支援室の前田恵子相談員から「交通事故被害者の心理と対応について」と題する講演と毎日書道展会員、師範である県交通安全母の会連合会福嶋会長による書道パフォーマンスとして「飲酒運転根絶」と力強く大書する書道実演が行われた後、麻生交通安全母の会会長による飲酒運転根絶宣言、麻生警察署長から飲食店組合への「飲酒運転根絶協力店」ステッカーの贈呈式が行われました。大書された「飲酒運転根絶」は、県協会に掲示、活用されています。

さらに大会終了後、会場近くの小田急新百合丘駅南

口広場に移動して、県交通安全協会が提供した「飲酒運転根絶カップホルダー」やチラシ、ハンドルキーパー袋を配布しながら「飲酒運転を根絶しよう!!」キャンペーンを行い、飲酒運転の根絶、飲酒事故防止を呼びかけました。



賛助会員のご紹介

このコーナーでは、従前から賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 学校法人 武相学園 — 横浜市港北区仲手原
- 白井義常 — 横浜市港北区篠原町
- 三橋建設(株) — 横浜市青葉区あざみ野
- (株)イワサキ — 横浜市泉区和泉町
- 楠原輸送(株) — 横浜市神奈川区東神奈川



足柄交通安全協会
会長 鈴木 眞徳さん
すずき まさのり

す。新年明けましておめでとございま

若鮎踊る清流酒匂川が中央を流れ、西に霊峰富士・箱根連山を望む風光明媚な足柄平野に在ります足柄交通安全協会は、東名高速道路が横断し、その大井松田インターチェンジに接続する国道255号線、そして国道246号線が走る1市5町(南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町)の広域にわたる足柄地域の安心・安全のため日々活動しています。

当協会の発足は、終戦後に自動車燃料が木炭からガソリンへ移行するころに結成されました。自家用自動車協会と営業自動車関係者により昭和23年4月、当時の会員約60名で設立されました。平成20年には60周年を祝うことができ、間もなく創立65周年を迎えます。

昨年、第14代会長に就任しました鈴木眞徳さんは、松田町に生まれ育ち、大学卒業後、祖父の代から続く「源氏酒店」を継ぐ傍ら、地域に役立つことをしたいとの強い思いから松田町交通指導隊に入隊、その後当協会の常任理事・副会長を歴任いたしました。

平成16年には、その功績が認められ

「交通栄誉章緑十字銀賞」を受賞するなど、32年の長きに渡り、皆が住みやすい安心で安全な街づくりのために積極的に活動しております。また、地域に貢献するためには、人との和と健康が大切であると考え、趣味と健康維持のためのゴルフや毎朝のウォーキングを楽しみながら心身を鍛えています。質実剛健な人柄から人望も厚く、頼まれると嫌と言えない性格で、そんな心身の大きさに加え、どこでもマイクなしでOK! という美声の持ち主でもあります。

当協会の事業運営は、会長と役員43名及び交通指導員31名を中心として、松田警察署・各行政機関並びに交通関係諸団体の協力のもとに展開されます。4万6千人余の免許会員の皆様と87の賛助会員事業所のご協力を得ながら、高齢者から幼児までの悲惨な交通事故を1件でもなくすため様々な啓発活動を行っております。今年で35回を迎える「自転車の安全な乗り方足柄大会」をはじめとして「シルバードライビングスクール」、「四季の交通安全街頭キャンペーン」など、役員等が丸ごとたつて事業を推進しています。

これからも、会長の卓越したリーダーシップのもとに、近年増加傾向にある高齢者や自転車事故の減少に向けての活動を強化し、更には事務所移転事業への取組等へご尽力いただきますとともに、益々のご活躍を期待するところです。

(取材協力：足柄交通安全協会)

こんにちは

「大磯地区交通安全協会」です

新年明けましておめでとうございます。

大磯地区交通安全協会は、白砂青松の相模湾に臨み、東西を横断する旧東海道(国道1号線)の要衝に位置する。大磯町・二宮町を管内とし、自然環境の恵みと由緒ある歴史・文化にも恵まれたその一端を紹介します。

《宿場町…東海道が通る大磯は、旅籠屋が多く、本陣も3軒あり、大いに賑わった。現在では、秋には宿場祭りが。二宮にも脇本陣があった。》

《別荘地…明治20年代から政府の中心人物や旧大名などが別荘を構えた。有名なのは伊藤博文の滄浪閣であり、現在、国の登録有形文化財建造物として申請中の旧木下邸なども残っている。》

《海水浴場発祥の地…病気療養目的の海水浴に注目した医師の松本順が、明治18年に日本初の海水浴場として開いた。》

さて、当協会の新年は今年で89回を数え、正月の風物詩ともなっている「箱根駅伝」から始まる。協会役員と交通指導員は、駅伝開催の2日

間、歩道に幾重にもできる人垣の交通整理に汗を流し、各大学駅伝選手の無事通過を見届けて正月となる。

数日後には、警察と交通関係団体の役員、交通指導員、母の会会員等が一堂に会して「交通安全出陣式」を行い、団結と士気の高揚を図るとともに、地域内の神社で交通安全祈願を行い、1年がスタート。悲惨な交通事故撲滅を誓い、各季の交通安全運動等に積極的に取組むほか、下記の主な行事に協力することとしている。

《左義長祭…国の重要無形民俗文化財に指定され、大磯町北浜海岸で行われ、セトノルエとも言われる正月の勇壮な火祭りの様相は、壮観。9基のセトに一齐に火が入られ、この火でダンゴを焼いて食べると風邪をひかず、松の燃えさしを持ち帰って屋根に置く、火災除けになると言われる。》

《国府祭…千年以上の悠久の時を経て、なお受け継がれている伝統。相模の国一宮の争いを神事化した「禪問答」や「鷲の舞」などが毎年5月に行われている。》

《宿場まつり…東海道五十三次で江戸から数えて8宿目の大磯宿は、恵まれた自然と歴史的財産を数多く有する希少な地であり、宿付近に



残る松並木は浮世絵の題材にもなり、交通の要所で、ここを舞台に江戸時代の賑やかさを再現し、人々の触れ合いを生んでいる。》

《夏祭り…二宮町は、7月に3日間で済ませるが、大磯町は、4月から夏にかけて12カ所の地区ごとに夏祭りが行われるので、土曜、日曜に出動する交通指導員の負担が大きい。》

以上紹介した以外にも交通安全運動や町事業など年間のボランティア出動が多い中、各地区協会と同様に、役員・指導員・推進委員などの高齢化が進むとともに、定年等補充に対する受け手も少なく、今後の活動が心配される状況であるが、協会一丸となって交通安全活動に取り組んでいる。

(宮戸 記)

地区交通安全協会の活動紹介



都 筑
警察署前からスキップ広場まで年末の交通事故防止運動パレードを行い、広場ではコンサートに続いて啓発物を配布しながらキャンペーンを行って交通安全意識の高揚を図りました。



浦 田
追浜高校の校庭において、スタン・トマンによる自転車事故「スケアー・ドストレット」を行い、ヘッドホン装着、携帯使用、傘さし運転事故を実演して生徒240名に自転車事故の防止を呼びかけました。



町 山 葉
御用邸前交差点において、警察等関係機関・団体50人で年末の交通事故防止運動キャンペーンを行い、カップホルダー等啓発物を配布しながら交通安全を呼びかけました。



原 小 田
安協豊川支部と母の会が主催し、学習センター豊川会館で高齢者100人に対し、自転車シミュレーターなどにより自転車教室を開催して年末年始に向けての事故防止を呼びかけました。

見 鶴
JR及び京急鶴見駅周辺において放置自転車に「駐輪禁止警告書」を貼付したほか、幟旗を掲示して、自転車の放置禁止及び駐輪施設の利用を呼びかけるキャンペーンを実施しました。



賀 須 横
京急横須賀中央駅前エッキ下広場において、プロゴルフの木戸愛さんに日警察署長を委嘱した後、年末の交通事故防止運動キャンペーンを行い、通行者等に大根を配りながら飲酒運転根絶を訴えました。



市 三 浦
三崎警察署前交差点において、警察署等と連携して年末の交通事故防止運動キャンペーンを行い、通行中のドライバー等に対し、大根等を配布しながら飲酒運転の「大根絶」を呼びかけました。



市 藤 沢
国道1号線において、市、警察署、自転車商と連携し、リーフレット「自転車の新交通ルール」等を配布しながら交通ルールの指導とマナーの向上を呼びかけ、併せて無料点検を実施しました。



編集後記

明けましておめでとうございます。
「二年の計は元日にあり」とよく言われます。今年の目標を決めた方も多いのではないのでしょうか。夢頭の富士山が雄大に末広のように、夢と希望を持って今年も邁進していきたいものです。
さて、昨年の世相を占う一文字は「金」でした。

確かに全国的には混沌とした年でもありましたが、ロンドンオリンピックでの女子選手の活躍やノーベル賞受賞等明るいニュースもたくさんありました。

私も交通安全活動でも長年交通ボランティア活動に携わってこれた地区の会長さん方が叙勲や褒賞、そして内閣府担当大臣賞や神奈川県知事からの功労賞等例年になく、栄誉に輝き、後に続くボランティアの方々には光を与えてくれました。

とかく交通安全活動には派手さがなく、目立たないが地味に地域に根ざした交通事故防止活動に携わってくださっている方が多いのです。本年も昨年同様交通事故防止活動にご尽力をいただいたものです。このように明るいニュースの中に更に加えるとなれば、県警察のチリリン・スクール等自転車対策を柱とした警察庁長官賞受賞、「全国白バイ大会」における個人総合優勝などが挙げられるのではないのでしょうか。

年が明け、神奈川県の名物行事の箱根駅伝も熱戦が展開されましたが、陰で支えている交通指導員の皆様様の力を忘れてはなりません。交通安全活動に携わっている皆さんにたくさんのお礼を送り、「ゼロバッチ」が輝くことを祈って、さらなる交通安全活動に頑張ってくださいませ。

(T・T記)